

# GLOBAL REPORT

China

重慶医薬集団和平物流有限公司  
和平物流センター



写真手前は、ケース自動倉庫（高さ20m、スタッカークレーン2倉庫（高さ24m、スタッカークレーン10基、格納数1万5,600パ



ピッキングされた商品は高速自動仕分け装置（16シュート）に搬送され、出荷方面別に仕分けられる。

基、格納数2万2,200ケース）、写真奥はパレット自動レット）。

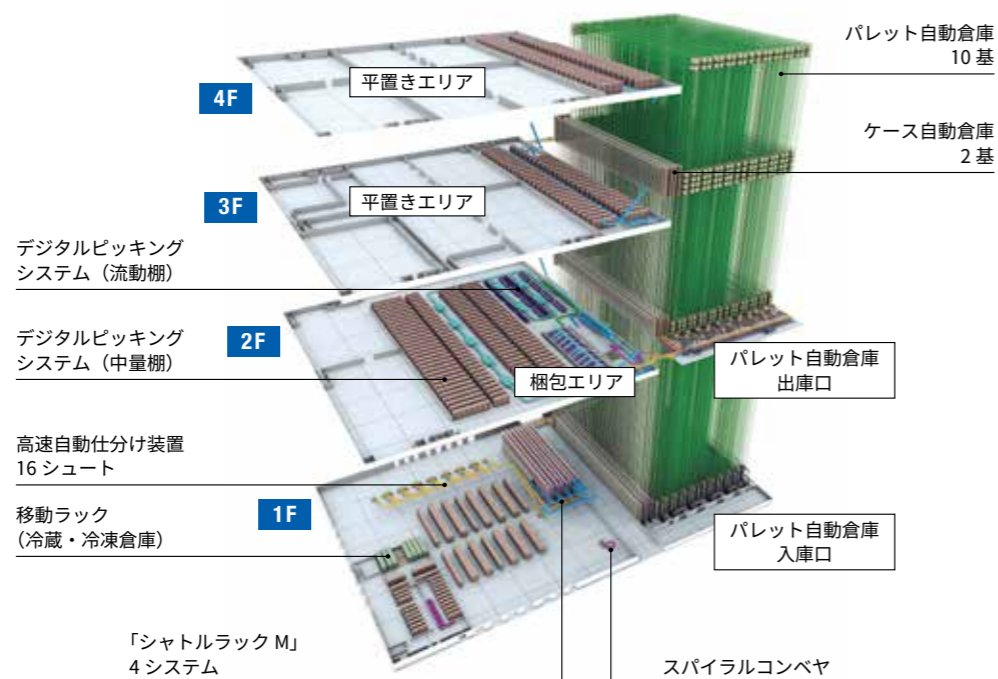
## 医薬品の緊急注文への対応を迅速化 処理能力を向上し出荷リードタイムを短縮

重慶医薬集団和平物流有限公司は、中国西部における重慶医薬グループの物流ネットワークの拡大および物流体制の再構築を目的として、重慶市内に和平物流センターを建設しました。各種自動倉庫や仕分けシステムを導入し、医薬品のピッキング作業などを効率化。取扱量が増加したにもかかわらず、出荷リードタイムおよび業務時間の短縮を実現しました。

重慶医薬グループで主に医薬品の保管・配送などを手掛ける重慶医薬集団和平物流有限公司は、2016年4月に敷地面積約8万6,670㎡、延べ床

面積5万8,000㎡に及ぶ和平物流センターを新設しました。グループ本社の物流戦略の下で、拡大する市場ニーズに対応し、作業の効率化を図るため、大規模な自動化設備を導入しました。主に重慶市内の病院、重慶医薬グループの薬局、診療所などに医薬品を提供し、1日当たりで約2万5,000件の出荷オーダーに対応しています。

同センターの主な物流フローは、パレット単位の入庫品はパレット自動倉庫で、ケース単位の入庫品はケース自動倉庫や各種ラックで保管されます。



梱包エリアではピッキングされた商品の検品・梱包を行い、タグを貼り付ける。コンテナは出荷種別で色分けされている。



5面スキャン装置では、出荷する商品の医薬品電子監視コードを読み取り、トレーサビリティ機能を向上。



出荷準備の整った商品は、シャトルラックMで一時的に保管する。

自動倉庫に格納された商品は、必要に応じて、デジタルピッキングシステム用の流動棚・中量棚に補充を行います。

自動倉庫からパレット単位で出荷する商品は、2階からリフターを經由して1階にそのまま搬送されます。自動倉庫からケース単位で出荷する商品は2階から出庫後、1階の高能力ケース荷揃えシステム「シャトルラックM」もしくは高速自動仕分け装置「サーフィン



デジタルピッキングシステム（1,486表示器）では、流動棚で高頻度出荷品を、中量棚で低頻度出荷品を保管している。

ソーター」へ搬送されます。

ピース単位で出荷する商品は、デジタルピッキングシステムを用いてコンテナに集品し、コンベヤに投入します。その後梱包エリアに搬送され、検品・梱包を行い高速自動仕分け装置で仕分けされます。

### 集荷・配送効率が向上 出荷時間も大幅に短縮

センター完成前は、各地に分散した倉庫から医薬品の配送を行っていましたが、人手による作業も多く、徹夜作業が生じていました。今回、拠点を集約し、大規模な自動化システムを採用したことで、作業が午後10時には完了するなど、出荷時間が大幅に短縮しました。現在、重慶市内の通常の出荷品は24時間以内での納品が可能

になり、緊急出荷品は2時間以内の納品を目指し、遅くとも4時間以内の納品を行っています。また取扱量の増加にもかかわらず、従来の8割の人員で運営が行えています。

「和平物流センターの建設にあたっては、弊社が十数年前に初めて導入したダイフクの自動倉庫の安定性が高く、アフターサービスも非常に良好であったことからダイフクを選びました。現在、主に3PL事業向けの新たな自動倉庫の導入にも協力いただいています」



執行董事 総経理 熊碧林 様